学校番号	409

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「古典Ｂ」改訂版（大修館）						
副教材等	新版四訂カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることを目指します。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかり身に付けてください。
・時代の変遷の中で様々な評価を受けつつ読み継がれてきた作品の価値について考えながら学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構成を理解することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・わが国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート・ワークシート等） 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	古典に親しむ	教材:今昔物語集「安倍晴明」	○	◎	○	a:作者の解釈とともに、物語の内容を正しく理解し、関心を持とうとしている。 b:作者の解釈とともに、物語の内容を正しく理解し、関心を持　っている。 c: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:記述の確認及び定期考査
	古文の物語を読む(一)―歌の物語	教材:今物語「うしろむき」 伊勢物語「初冠」 ・和歌の修辞法	○	◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりや和歌の修辞法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:記述の確認及び定期考査
	古文の物語を読む(二)	教材:徒然草「丹波に出雲といふ所あり」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:記述の確認及び定期考査

2学期	古文の物語を読む(三)	教材:沙石集「児の飴食ひたること」 大鏡「競べ弓」 枕草子「大蔵卿ばかり」 義経記「静の白拍子」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:記述の確認及び定期考査
3学期	漢文を読む(一) -故事成語	教材:「朝三暮四」	○	◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 b:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:記述の確認及び定期考査
	漢文を読む(二) -儒家の思想	教材:「人に忍びざるの心」	○	◎	○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b: 文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c: 行動の観察と確認及び分析 b: 記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度
b:読む能力　　c:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。